

母乳育児の子には母乳育児専用の発育曲線を

母乳育児が優れていることは多くの医療専門家だけでなく実際に育児をしている母親やその家族にも広く知られています。これは単に物質的な優秀性だけでなく精神的、情緒的な優秀性も科学的に証明されてきています。

しかし、現実には母乳育児をしていると多くの間違っただ情報や誤解を招きそうなものが存在するのも事実です。

その中に赤ちゃんの発育曲線があります。母子手帳に乗っている体重や身長が発育曲線は一般には赤ちゃんの発育を見るためにとっても役立つことがわかっています。しかし、完全母乳育児をしている子らには不適切と言わざるを得ません。完全母乳栄養児の発育は人工乳の子らに比べると、緩やかであることが良く知られており、完全母乳栄養児の発育を現行の身体発育曲線にプロットすると‘標準以下‘即ち‘母乳不足‘と誤って判断され、‘人工乳の追加‘を勧められる事は稀ではなく、母親の育児に対する不安や意欲を低下させる可能性すら心配されます。

私たちはそのために完全母乳育児の子らの身体発育曲線を作成し発表いたしました。
(*Acta Paediatrica* 2013;102:739-743)

要点は、男女とも現行の身体曲線に比し体重、身長は全体的に 10%タイル近く低値で、頭囲はやや大きいことがわかりました。対象者は **Baby-Friendly Hospital** で出生した完全母乳栄養児で一国としての対象数は報告された中では最も多く、データの信頼性は高いと考えています。

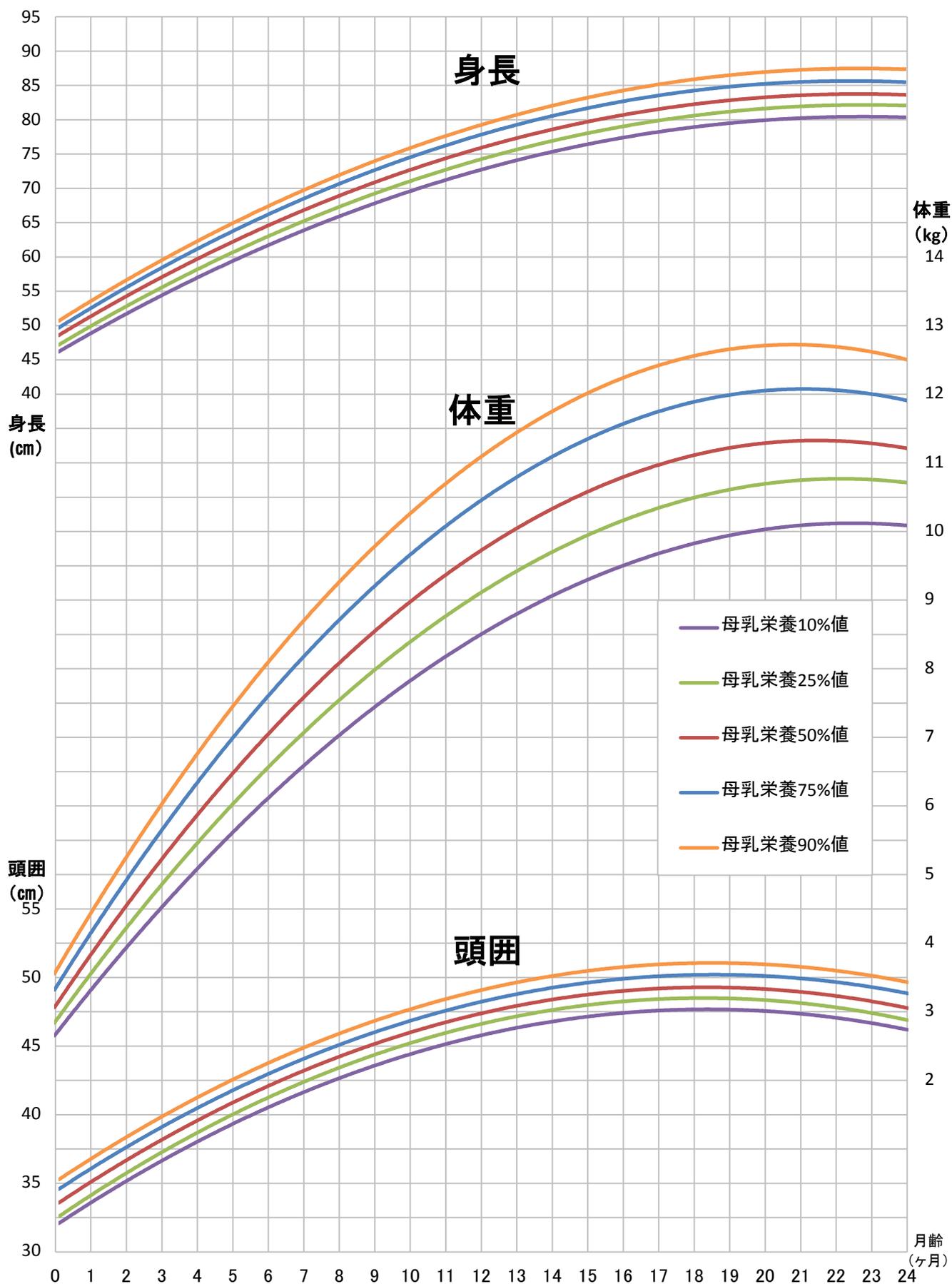
我が国においても小児の肥満、生活習慣病の増加が危惧される昨今、母乳育児の促進が重要課題ではありますが、これを適切に指導、遂行する上でも完全母乳栄養児の身体曲線は必須と考えております。

母乳育児を推進しておられる皆様におかれましてはこの曲線を自由にお使いいただき、よりよい母乳育児を推進することができますよう希望いたしております。

山城雄一郎 (順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座)

石井 廣重 (石井第一産科婦人科クリニック 1994年BFH 認定)

横断的標準身長・体重・頭囲曲線 男子(0-24ヶ月)



横断的標準身長・体重・頭囲曲線 女子(0-24ヶ月)

